

平成17年度東京都病院会計決算審査意見書

第1 審査の概要

1 審査の対象 病院経営本部

2 審査の手続

この決算審査に当たっては、知事から提出された決算書類が、病院事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかを検証するため、決算諸表、総勘定元帳その他の帳簿及び証拠書類の照合等を行うとともに、関係部局から決算についての説明を聴取するなどの方法により審査を実施した。

また、本事業の経営状況を把握するため計数の分析を行うとともに、経済性の発揮及び公共性の確保の観点から事業運営が適切に行われているかを検証した。

3 審査の期間 平成18年6月1日から同年8月9日まで

第2 審査の結果

1 決算諸表について

審査に付された決算諸表は、病院事業の経営成績及び財政状態を、別項指摘事項を除き適正に表示しているものと認められる。

2 事業運営について

平成17年度の病院事業は、普通病院8、小児病院2、精神病院2の計12病院において、病床数6,073床の施設規模により運営され、年間延べ患者数は、入院で194万970人、外来で238万3,532人となっている。

これを前年度と比較すると、入院では2万4,163人、外来では3万8,573人それぞれ減少している。

収支状況は、総収益1,397億余円に対し、総費用1,417億余円であり、差引き20億余円の純損失となっている。

財政状況は、資産2,014億余円、負債137億余円及び資本1,876億余円となっている。

資金状況は、41億余円の当年度資金剰余を生じ、累積資金剰余额は227億余円となっている。

当年度の経営状況は、20億余円の純損失となり、未処理欠損金が57億余円に及んでいることから、より一層の経営努力が必要である。

3 指摘事項について

(1) 決算に関するもの

ア 会計処理を適正に行うべきもの

各病院における修繕費（収益的支出）の執行状況について確認したところ、表1のとおり、本部の規定する修繕支弁基準に基づかない、不適正な会計処理が見受けられた。

会計処理を適正に行われたい。

(表1) 収益的支出としているが資本的支出とすべきもの

件名	契約金額 (円)	支出科目		病院	施工内容
		正	誤		
細菌検査室端末増設に伴うLAN工事	124,950	工事費 (資本的支出)	修繕費 (収益的支出)	豊島病院	既存配管を補修・再利用し新たにLAN配線を施す工事
既存LAN回線拡張工事	157,500	工事費 (資本的支出)	修繕費 (収益的支出)	豊島病院	院内LAN端末がインターネット接続できなくなったためにLAN配線を施した工事
C-2病棟浴室内部修理	1,911,000	工事費 (資本的支出)	修繕費 (収益的支出)	府中病院	控室を浴室にする用途変更を伴う工事
C-2病棟脱衣室修理	1,963,500	工事費 (資本的支出)	修繕費 (収益的支出)	府中病院	特殊浴室を脱衣室及び仮眠室にする用途変更を伴う工事
旧保育室エアコン等外1件修理	409,500	器械及備品購入費 (資本的支出)	修繕費 (収益的支出)	府中病院	ルームクーラー2台を撤去しエアコン1台を新たに設置
栄養科控室等修理	1,680,000	工事費 (資本的支出)	修繕費 (収益的支出)	府中病院	更衣室をトイレにする用途変更を伴う工事
エアコン修理	434,700	器械及備品購入費 (資本的支出)	修繕費 (収益的支出)	八王子 小児病院	既存のエアコンを取り外し新規エアコン4台を設置
合計	6,681,150				

第3 経営状況の概要

1 経営成績について

(1) 業務実績について

ア 入院患者実績について

当年度の入院患者実績は、表2のとおり、194万970人であり、前年度(196万5,133人)と比較して2万4,163人(1.2%)減少している。

これは主に、松沢病院において急性期精神医療を中心とした精神医療センター(仮称)へ再編整備するため病床数を段階的に減少させていることに伴い、長期入院患者の社会復帰を促進したことによるものである。

(表2) 入院患者の実績比較表

(単位：床、人、%)

	平成17年度			平成16年度			対前年度比較(増減)			
	病床数	一日当り	年延べ(A)	病床数	一日当り	年延べ(B)	病床数	一日当り	年延べ(C=A-B)	率(C/B)
普通病院	4,423	3,989	1,455,889	4,423	4,005	1,461,708	0	16	5,819	0.4
広尾	476	399	145,388	476	411	149,951	0	12	4,563	3.0
大塚	500	446	162,900	500	438	160,032	0	8	2,868	1.8
駒込	801	737	268,912	801	731	266,550	0	6	2,362	0.9
豊島	360	321	117,281	360	312	113,667	0	9	3,614	3.2
荏原	500	426	155,413	500	434	158,595	0	8	3,182	2.0
墨東	729	678	247,305	729	693	253,018	0	15	5,713	2.3
府中	761	698	254,824	761	698	254,806	0	0	18	0.0
神経	296	284	103,866	296	288	105,089	0	4	1,223	1.2
小児病院	345	260	94,798	345	264	96,235	0	4	1,437	1.5
清瀬	255	186	67,906	255	192	69,922	0	6	2,016	2.9
八王子	90	74	26,892	90	72	26,313	0	2	579	2.2
精神病院	1,305	1,069	390,283	1,353	1,115	407,190	48	46	16,907	4.2
松沢	1,063	877	320,024	1,111	911	332,657	48	34	12,633	3.8
梅ヶ丘	242	192	70,259	242	204	74,533	0	12	4,274	5.7
合計	6,073	5,318	1,940,970	6,121	5,384	1,965,133	48	66	24,163	1.2

(注) 病床数は、予算定床数である。

病床種別の病床数及び病床利用率は、表3のとおりである。病床数は、前年度に比較して全体で48床の減少となっている。これは、松沢病院で1病棟を閉鎖したことによるものである。病床利用率は、87.6%となっている。

(表3) 病床種別の病床数及び病床利用率比較表

(単位：床、人、%)

区 分	平成17年度				平成16年度				対前年度比較(増 減)			
	病床数	一日当り	年延べ	利用率	病床数	一日当り	年延べ	利用率	病床数	一日当り	年延べ	利用率
普通病床	4,529	4,118	1,503,172	90.9	4,529	4,138	1,510,160	91.4	0	20	6,988	0.5
精神病床	1,398	1,164	424,784	83.2	1,446	1,208	441,088	83.6	48	44	16,304	0.4
結核病床	86	35	12,815	40.8	86	37	13,675	43.6	0	2	860	2.8
感染症病床	60	1	199	0.9	60	1	210	1.0	0	0	11	0.1
合 計	6,073	5,318	1,940,970	87.6	6,121	5,384	1,965,133	88.0	48	66	24,163	0.4

(注) 1 病床数は、予算定床数である。

2 病床利用率は年延べ患者数を病床数×暦日で除したものである。

3 精神病床は広尾・豊島・荏原・墨東・府中・松沢・梅ヶ丘の各病院に、結核病床は府中・清瀬小児の各病院に、感染症病床は駒込・豊島・荏原・墨東の各病院に設置している。

イ 外来患者実績について

当年度の外来患者実績は、表4のとおり、238万3,532人であり、前年度(242万2,105人)と比較して3万8,573人(1.6%)減少している。

これは主に、墨東病院において電子カルテの円滑な導入が行えるよう外来患者の受付数を制限したことによるものである。

(表4) 外来患者の実績比較

(単位：人、%)

区 分	平成17年度		平成16年度		対前年度比較(増 減)		
	一日当り	年延べ(A)	一日当り	年延べ(B)	一日当り	年延べ(C=A-B)	率(C/B)
普通病院	7,199	2,116,515	7,328	2,154,631	129	38,116	1.8
広尾	762	223,885	829	243,670	67	19,785	8.1
大塚	838	246,388	874	257,042	36	10,654	4.1
駒込	1,252	368,204	1,218	358,038	34	10,166	2.8
豊島	561	164,963	582	171,126	21	6,163	3.6
荏原	994	292,153	957	281,247	37	10,906	3.9
墨東	1,276	375,115	1,378	405,190	102	30,075	7.4
府中	1,492	438,708	1,462	430,023	30	8,685	2.0
神経	24	7,099	28	8,295	4	1,196	14.4
小児病院	402	118,262	426	125,233	24	6,971	5.6
清瀬	282	82,859	298	87,494	16	4,635	5.3
八王子	120	35,403	128	37,739	8	2,336	6.2
精神病院	506	148,755	484	142,241	22	6,514	4.6
松沢	372	109,440	352	103,387	20	6,053	5.9
梅ヶ丘	134	39,315	132	38,854	2	461	1.2
合 計	8,107	2,383,532	8,238	2,422,105	131	38,573	1.6

(2) 収支状況について

損益の状況は、表5(詳細は、別表1比較損益計算書)のとおり、医業損益では損失が前年度(221億余円)と比較して、13億余円(6.0%)減少し、208億余円となっている。経常損益では損失が前年度(31億余円)と比較して、8億余円(27.3%)減少し、22億余円となっている。純損益では前年度2億余円の純利益であったが、当年度は20億余円の純損失となっている。

(表5) 経営成績比較表

(単位：百万円、%)

区 分	平成17年度 A	平成16年度 B	増 () 減	
			金 額 C = A - B	率 C / B × 100
医 業 収 益	113,327	112,319	1,008	0.9
医 業 費 用	134,144	134,455	310	0.2
医 業 損 益	20,817	22,135	1,318	6.0
医 業 外 収 益	26,032	26,547	515	1.9
医 業 外 費 用	7,474	7,519	44	0.6
経 常 損 益	2,259	3,107	847	27.3
特 別 利 益	367	3,440	3,072	89.3
特 別 損 失	152	131	20	15.8
純 損 益	2,044	201	2,245	-

ア 収益について

総収益は表6のとおり、1,397億余円であり、前年度(1,423億余円)と比較して、25億余円(1.8%)減少している。

医業収益は1,133億余円であり、前年度(1,123億余円)と比較して、10億余円(0.9%)増加している。

これは主に、一般会計負担金が3億余円減少したものの、入院収益が4億余円、外来収益が9億余円それぞれ増加したことによるものである。

入院収益及び外来収益の増加は、患者数が減少しているものの、患者一人当たり単価が増加したことなどによるものである。

医業外収益は260億余円であり、前年度(265億余円)と比較して、5億余円(1.9%)減少している。

これは主に、一般会計補助金が5億余円減少したことによるものである。

特別利益は3億余円(前年度34億余円)であり、主なものは、旧職員住宅跡地(622.36㎡)の土地売却益である。

(表6) 収益比較表

(単位：百万円、%)

区 分	平成17年度 A	平成16年度 B	増()減	
			金 額 C = A - B	率 C / B × 100
医業収益	113,327	112,319	1,008	0.9
入院収益	70,844	70,414	430	0.6
外来収益	24,966	24,051	914	3.8
一般会計負担金	15,687	16,010	322	2.0
その他医業収益	1,829	1,843	13	0.7
医業外収益	26,032	26,547	515	1.9
受取利息及び配当金	2,851	2,746	105	3.8
一般会計負担金	2,446	2,624	177	6.8
一般会計補助金	17,889	18,441	551	3.0
国庫補助金	315	377	61	16.4
その他医業外収益	2,528	2,358	170	7.2
特別利益	367	3,440	3,072	89.3
総収益	139,727	142,307	2,579	1.8

一般会計からの繰入金は表7のとおり360億余円であり、前年度(370億余円)と比較して、10億余円減少している。

このうち一般会計負担金は、精神病院運営経費が実績増により2億余円増加しているものの、救急医療経費、小児医療経費、保健衛生行政経費がそれぞれ減少したことにより、5億余円減少している。

また、一般会計補助金は、周産期医療など特殊医療経費の実績減により5億余円減少している。

(表7) 一般会計繰入金内訳比較表

(単位：百万円)

区 分	平成17年度	平成16年度	増()減
一般会計負担金	18,134	18,634	500
医業収益	15,687	16,010	322
救急医療経費	5,496	5,721	225
精神病院運営経費	6,337	6,107	230
小児医療経費	1,735	1,845	109
保健衛生行政経費	2,117	2,336	218
医業外収益	2,446	2,624	177
建設又は改良に要する経費	2,446	2,624	177
一般会計補助金	17,889	18,441	551
医業外収益	17,889	18,441	551
高度医療経費	7,957	7,996	39
特殊医療経費	8,688	9,122	433
建設又は改良に要する経費	1,243	1,322	79
合 計	36,024	37,076	1,052

イ 費用について

総費用は、表8のとおり、1,417億余円であり、前年度(1,421億余円)と比較して、3億余円(0.2%)減少している。

医業費用は、1,341億余円であり、前年度(1,344億余円)と比較して、3億余円(0.2%)減少している。これは主に、厚生労働省が当年度、保険診療として認可した抗がん剤等の新薬を使用したことなどにより材料費が9億余円増加したものの、職員数の減などにより給与費が7億余円、病院情報システムの入替えにより経費が5億余円それぞれ減少したことによるものである。

医業外費用は、74億余円であり、前年度(75億余円)と比較して、4千万余円(0.6%)減少している。これは主に、雑支出が2億余円増加したものの、支払利息及企業債取扱諸費が2億余円減少したことによるものである。

特別損失は1億余円であり、過年度損益修正損である。

なお、給与費・職員数等については表9のとおりとなっている。

(表8) 費用比較表

(単位：百万円)

区 分	平成17年度 A	平成16年度 B	増()減	
			金額 C = A - B	率 C / B × 100
医業費用	134,144	134,455	310	0.2
給与費	70,530	71,230	700	1.0
材料費	28,421	27,484	936	3.4
経費	21,776	22,315	538	2.4
減価償却費	12,500	12,526	25	0.2
資産減耗費	225	188	37	19.9
研究研修費	689	710	20	2.9
医業外費用	7,474	7,519	44	0.6
支払利息及企業債取扱諸費	3,689	3,946	257	6.5
繰延勘定償却	472	467	5	1.1
雑支出	3,312	3,105	207	6.7
特別損失	152	131	20	15.8
総費用	141,771	142,106	334	0.2

(表9) 給与費明細比較表

(単位：千円)

区 分	平成17年度	平成16年度	増()減
給料	28,334,013	28,533,888	199,875
職員手当	24,216,267	24,499,435	283,167
退職給与	4,060,714	4,193,196	132,481
報酬	4,416,340	4,072,661	343,678
賃金	691,604	720,486	28,881
法定福利費	8,770,644	9,174,644	404,000
計	70,489,585	71,194,313	704,728
職員数	6,765人	6,848人	83人
平均年齢	39歳2月	39歳5月	3月
職員1人当たり給与費	7,694千円	7,657千円	37千円

(注) 1 職員数及び平均年齢は、年度末現在である。また、職員数には、再任用短時間勤務者(平成17年度30人、平成16年度22人)を含む。

2 職員1人当たり給与費は、(給料+手当)÷月当たり平均職員数である。

事業の収益性を示す経営比率は、表10のとおりであり、入院収益及び外来収益が増加したことにより医業収益が増加し、給与費の減少等により医業費用が減少したことにより、自己収支比率が前年度より改善されている。

(表10) 経営比率の推移

(単位：%)

項目	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	算式
経営資本 営業利益率	19.9	22.1	12.8	12.1	11.5	$\frac{\text{営業利益}}{\text{経営資本}}$
営業収益 営業利益率	40.9	42.6	21.1	19.7	18.4	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}}$
総費用対 総収益比率	99.8	102	100.6	99.9	101.5	$\frac{\text{総費用}}{\text{総収益}}$
自己収支比率	71.1	70.2	72.1	71.7	73.0	(注2)

(注) 1 経営資本 = 総資本 (建設仮勘定 + 投資 + 繰延勘定)

2 自己収支比率 = 病院事業収益 (一般会計繰入金及び特別利益を除く。) ÷ 病院事業費用 (特別損失を除く。)

2 財政状態について

(1) 資本的収支について

資本取引に係る資金の動きを示す資本的収支の状況は、表11のとおりである。

資本的収入は111億余円であり、前年度(50億余円)と比較して、61億余円(122.4%)増加している。

これは主に、都立病院改革実行プログラムに基づく再編整備に伴って多額の建設費が見込まれていることから、当年度新たに一般会計出資金を66億余円受け入れたことによるものである。

資本的支出は153億余円であり、前年度(159億余円)と比較して、6億余円(4.1%)減少している。

これは主に、建設改良費が5億余円(7.1%)減少したことによるものである。

(表 1 1) 資本的収支比較表

(単位：百万円、%)

区 分	平成 1 7 年度 (A)	平成 1 6 年度 (B)	増 () 減		
			金 額 (C = A - B)	増減 () 率 C / B × 1 0 0	
資 収 本 的 入	企業債	4,000	4,019	19	0.5
	一般会計出資金	6,675	0	6,675	-
	国庫補助金	185	81	104	128.7
	固定資産売却収入	277	910	633	69.5
	その他資本的収入	4	0	4	-
	計	11,143	5,011	6,131	122.4
資 支 本 的 出	建設改良費	6,943	7,472	528	7.1
	企業債償還金	8,375	8,508	132	1.6
	計	15,319	15,980	661	4.1
差引資本的収支	4,176	10,969	6,793	61.9	

(2) 資産及び負債・資本について

当年度末の資産、負債及び資本の状況は、別表 2 比較貸借対照表のとおりである。

資産総額は、2,014 億余円で、前年度(2,029 億余円)と比較して、14 億余円(0.7%)減少している。

これは主に、流動資産が 24 億余円増加したものの、固定資産が 37 億余円減少したことによるものである。

流動資産の増加は、主に、現金預金が 42 億余円減少したものの、未収金が 67 億余円増加したことによるものである。

固定資産の減少は、主に、投資が 12 億余円増加したものの、建物の減価償却などにより有形固定資産が 50 億余円減少したことによるものである。

負債総額は 137 億余円であり、前年度(154 億余円)と比較して、16 億余円(10.7%)減少している。

これは主に、医業未払金が 8 億余円減少したことによるものである。

資本総額は 1,876 億余円であり、前年度(1,874 億余円)と比較して、1 億余円(0.1%)増加している。

これは主に、欠損金が 20 億余円増加し、借入資本金が 43 億余円減少しているものの、自己資本金が 66 億余円増加したことによるものである。

次に、当年度における有利子負債及び支払利息等の状況は、表12のとおりであり、有利子負債が43億余円、支払利息等が2億余円それぞれ減少している。

(表12) 有利子負債及び支払利息等の状況

(単位：百万円)

区 分		平成17年度 末残高(A)	平成17年度		平成16年度 末残高(B)	増()減 (A - B)
			増 加	減 少		
有利子負債	企業債	111,774	4,000	8,375	116,150	4,375
区 分		平成17年度支払額(C)		平成16年度支払額(D)		増()減 (C D)
支払利息等	企業債利息及企業債取扱諸費等	3,690		3,947		256

以上の財政状態を財務比率の推移で見ると、表13のとおりである。

いずれの指標も前年度より改善されているが、これは流動負債が16億余円減少し、流動資産が24億余円増加していること、自己資本(注1)が45億余円増加したことなどによるものである。

(表13) 財務比率の推移

(単位：%)

項 目	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	算 式
流動比率	222.7	256.6	218.8	220.3	264.7	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$
自己資本構成比率	33.9	34.6	34.3	35.2	37.7	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}}$
固定長期適合率	88.4	88.5	88.0	88.0	85.9	$\frac{\text{固定資産}}{\text{長期資本}}$

(注) 1 自己資本 = 自己資本金 + 剰余金

2 長期資本 = 資本金 + 剰余金

(3) 資金収支について

当年度における資金収支の状況は、表14のとおりである。

資本的収入は、111億余円である。これに対して資本的支出は、153億余円であり、資本的収支資金不足額は41億余円となっている。

また、収益的収支において、当期純損失20億余円と損益勘定留保資金等の差し引きにより、83億余円が資金剰余となり、資本的収支と収益的収支を合わせた資金収支において、41億余円の資金剰余となっている。

この結果、累積資金剰余額は、表15のとおり、227億余円となっている。

(表14) 資金収支表

(単位：百万円)

支 出		収 入	
項 目	金 額	項 目	金 額
資本的支出 (A)	15,319	資本的収入 (B)	11,143
		資本的収支資金不足額 (C = A - B)	4,176
		当期純損失	2,044
		損益勘定留保資金	13,232
		(減価償却費)	12,500
		(繰延勘定償却)	472
		(固定資産除却費等)	259
		消費税資本的収支調整額	24
		不動産信託受益権	2,838
		資本剰余金取崩	54
		計 (D)	8,320
収益的収支の資金剰余額 (E = D)	8,320		
当年度資金剰余額 (F = E - C)	4,143		
合計 (A + F)	19,463	合計 (B + D)	19,463

(表15) 累積資金推移表

(単位：百万円)

区 分	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
当年度資金剰余()不足額	2,284	1,398	212	449	4,143
累積資金剰余額	20,212	18,813	19,026	18,577	22,720

3 建設改良事業について

建設改良事業は、改良工事、器械及備品の整備を行っており、表18のとおり予算額87億余円に対し、決算額69億余円であり、執行率は79.4%となっている。

(表18) 建設改良事業執行状況

(単位：百万円、%)

区 分	予算額 (A)	決算額 (B)	執行率 (B/A × 100)	不用額 (A - B)
改良工事	4,014	2,352	58.6	1,661
器械及備品	4,726	4,591	97.1	135
計	8,741	6,943	79.4	1,797

(1) 改良工事について

改良工事は、予算額40億余円に対し、決算額23億余円であり、執行率は58.6%となっている。

工事の主なものは、広尾病院における省エネルギーサービスESCO事業(3億余円)、清瀬小児病院における2-1病棟改修工事(5,091万円)である。不用額の主なものは、新病院情報システムの緊急対応を執行しなかったことによる4億余円及び契約差金等による8億余円である。

(2) 器械及備品の整備について

器械及備品の整備は、予算額47億余円に対し、決算額45億余円であり、執行率は97.1%となっている。

整備購入した医療器械の主なものは、リニアック3台(8億余円)及びコンピューテッドラジオグラフィー1台(2億余円)である。

(別表1) 比較損益計算書

(単位：円、%)

科 目	平成17年度	平成16年度	増() 減	
	金 額 (A)	金 額 (B)	金 額 (C)	増減率 B/C×100
医業収益	113,327,484,116	112,319,211,864	1,008,272,252	0.9
入院収益	70,844,513,528	70,414,137,952	430,375,576	0.6
外来収益	24,966,037,694	24,051,813,965	914,223,729	3.8
一般会計負担金	15,687,441,000	16,010,053,000	322,612,000	2.0
その他医業収益	1,829,491,894	1,843,206,947	13,715,053	0.7
医業費用	134,144,758,713	134,455,154,376	310,395,663	0.2
給与費	70,530,400,074	71,230,418,271	700,018,197	1.0
材料費	28,421,300,046	27,484,489,099	936,810,947	3.4
経費	21,776,768,861	22,315,087,070	538,318,209	2.4
減価償却費	12,500,958,580	12,526,606,833	25,648,253	0.2
資産減耗費	225,870,241	188,424,923	37,445,318	19.9
研究研修費	689,460,911	710,128,180	20,667,269	2.9
医業損益	20,817,274,597	22,135,942,512	1,318,667,915	6.0
医業外収益	26,032,348,191	26,547,919,736	515,571,545	1.9
受取利息及配当金	2,851,413,507	2,746,103,105	105,310,402	3.8
一般会計負担金	2,446,642,000	2,624,294,000	177,652,000	6.8
一般会計補助金	17,889,917,000	18,441,653,000	551,736,000	3.0
国庫補助金	315,940,000	377,861,000	61,921,000	16.4
その他医業外収益	2,528,435,684	2,358,008,631	170,427,053	7.2
医業外費用	7,474,789,524	7,519,565,438	44,775,914	0.6
支払利息及企業債取扱諸費	3,689,865,641	3,946,968,229	257,102,588	6.5
繰延勘定償却	472,106,486	467,041,062	5,065,424	1.1
雑支出	3,312,817,397	3,105,556,147	207,261,250	6.7
経常損益	2,259,715,930	3,107,588,214	847,872,284	27.3
特別利益	367,931,244	3,440,470,410	3,072,539,166	89.3
特別損失	152,302,700	131,512,005	20,790,695	15.8
当年度純損失	2,044,087,386	201,370,191	2,245,457,577	-
当年度未処理欠損金	5,767,400,411	3,723,313,025	2,044,087,386	54.9

(別表2) 比較貸借対照表

(単位:円、%)

科 目	平成17年度		平成16年度		増 () 減	
	金 額 (A)	構成比 (%)	金 額 (B)	構成比 (%)	金 額 (C)	増減率 B/C × 100
固定資産	161,235,409,210	80.0	165,032,200,662	81.3	3,796,791,452	2.3
有形固定資産	143,689,075,397	71.3	148,714,415,377	73.3	5,025,339,980	3.4
土地	1,783,011,824	0.9	1,870,209,464	0.9	87,197,640	4.7
立木	264,095,218	0.1	264,207,968	0.1	112,750	0.0
建物	214,878,523,839	106.7	214,253,830,351	105.6	624,693,488	0.3
建物減価償却累計額	98,451,694,689	48.9	91,997,685,993	45.3	6,454,008,696	7.0
構築物	9,211,655,093	4.6	9,224,218,105	4.5	12,563,012	0.1
構築物減価償却累計額	5,274,996,089	2.6	5,019,495,909	2.5	255,500,180	5.1
器械及備品	66,124,287,047	32.8	64,812,091,111	31.9	1,312,195,936	2.0
器械及備品減価償却累計額	46,111,520,549	22.9	45,451,101,229	22.4	660,419,320	1.5
車両	83,340,410	0.0	83,572,992	0.0	232,582	0.3
車両減価償却累計額	74,212,786	0.0	71,818,922	0.0	2,393,864	3.3
建設仮勘定	1,256,586,079	0.6	746,387,439	0.4	510,198,640	68.4
無形固定資産	1,419,424,598	0.7	1,464,372,370	0.7	44,947,772	3.1
無形固定資産	1,419,424,598	0.7	1,464,372,370	0.7	44,947,772	3.1
投資	16,126,909,215	8.0	14,853,412,915	7.3	1,273,496,300	8.6
年賦未収金	570,867,414	0.3	761,156,552	0.4	190,289,138	25.0
不動産信託受益権	29,933,847,185	14.9	27,095,392,210	13.4	2,838,454,975	10.5
不動産信託仮勘定	16,314,910,434	8.1	14,940,240,897	7.4	1,374,669,537	9.2
その他投資	1,937,105,050	1.0	1,937,105,050	1.0	0	0
流動資産	36,520,721,069	18.1	34,022,477,059	16.8	2,498,244,010	7.3
現金預金	5,896,639,193	2.9	10,166,420,541	5.0	4,269,781,348	42.0
現金	88,493,583	0.0	90,383,073	0.0	1,889,490	2.1
預金	5,808,145,610	2.9	10,076,037,468	5.0	4,267,891,858	42.4
未収金	29,845,891,015	14.8	23,119,986,740	11.4	6,725,904,275	29.1
医業未収金	19,136,640,748	9.5	18,997,192,211	9.4	139,448,537	0.7
医業外未収金	3,827,121,342	1.9	4,038,275,251	2.0	211,153,909	5.2
その他未収金	6,882,128,925	3.4	84,519,278	0.0	6,797,609,647	-
貯蔵品	776,821,752	0.4	735,585,429	0.4	41,236,323	5.6
材料	750,471,670	0.4	705,856,646	0.3	44,615,024	6.3
その他貯蔵品	26,350,082	0.0	29,728,783	0.0	3,378,701	11.4
その他流動資産	1,369,109	0.0	484,349	0.0	884,760	182.7
前払金	1,369,109	0.0	484,349	0.0	884,760	182.7
繰延勘定	3,709,316,258	1.8	3,877,191,687	1.9	167,875,429	4.3
控除対象外消費税額	3,709,316,258	1.8	3,877,191,687	1.9	167,875,429	4.3
控除対象外消費税額	3,709,316,258	1.8	3,877,191,687	1.9	167,875,429	4.3
資産合計	201,465,446,537	100	202,931,869,408	100	1,466,422,871	0.7

(単位:円、%)

科 目	平成17年度		平成16年度		増 () 減	
	金 額 (A)	構成比 (%)	金 額 (B)	構成比 (%)	金 額 (C)	増減率 B/C × 100
流動負債	13,799,528,865	6.8	15,445,267,224	7.6	1,645,738,359	10.7
未払金	13,797,548,711	6.8	15,443,582,899	7.6	1,646,034,188	10.7
医業未払金	8,516,343,805	4.2	9,362,171,939	4.6	845,828,134	9.0
建設改良未払金	3,016,245,556	1.5	3,384,297,985	1.7	368,052,429	10.9
貯蔵品購入未払金	2,224,563,145	1.1	2,547,737,183	1.3	323,174,038	12.7
未払消費税及地方消費税	0	0	140,448,800	0.1	140,448,800	100
過誤納還付金	4,446,411	0.0	7,910,992	0.0	3,464,581	43.8
その他未払金	35,949,794	0.0	1,016,000	0.0	34,933,794	-
その他流動負債	1,980,154	0.0	1,684,325	0.0	295,829	17.6
預り金	1,980,154	0.0	1,684,325	0.0	295,829	17.6
負債合計	13,799,528,865	6.8	15,445,267,224	7.6	1,645,738,359	10.7
資本金	187,656,110,645	93.1	185,355,392,761	91.3	2,300,717,884	1.2
自己資本金	75,881,462,877	37.7	69,205,040,879	34.1	6,676,421,998	9.6
借入資本金	111,774,647,768	55.5	116,150,351,882	57.2	4,375,704,114	3.8
企業債	111,774,647,768	55.5	116,150,351,882	57.2	4,375,704,114	3.8
剰余金	9,807,027	0.0	2,131,209,423	1.1	2,121,402,396	99.5
資本剰余金	5,777,207,438	2.9	5,854,522,448	2.9	77,315,010	1.3
受贈財産評価額	2,733,534,461	1.4	3,000,533,065	1.5	266,998,604	8.9
国庫補助金	2,785,702,068	1.4	2,600,664,474	1.3	185,037,594	7.1
その他資本剰余金	257,970,909	0.1	253,324,909	0.1	4,646,000	1.8
欠損金	5,767,400,411	2.9	3,723,313,025	1.8	2,044,087,386	54.9
当年度未処理欠損金	5,767,400,411	2.9	3,723,313,025	1.8	2,044,087,386	54.9
資本合計	187,665,917,672	93.2	187,486,602,184	92.4	179,315,488	0.1
負債・資本合計	201,465,446,537	100	202,931,869,408	100	1,466,422,871	0.7